

# 門司港地域複合公共施設整備事業の 今後の進め方について



日時:令和6年5月29日(水)15時～  
場所:門司生涯学習センター

北九州市 副市長 片山 憲一

1

## 区役所庁舎の建設(竣工)年月

区役所名	建設年	建替までの 経過年数	建替年	経過年数
若松区役所	1922年(T11年) 9月	67	1989年(H 1年) 6月	35
門司区役所	1930年(S 5年) 4月	94	—	—
戸畑区役所	1933年(S 8年)12月	73	2006年(H18年)12月	18
小倉北区役所	1954年(S29年) 7月	44	1998年(H10年)11月	26
八幡東区役所	1962年(S37年)12月	62	—	—
小倉南区役所	1974年(S49年) 3月	50	—	—
八幡西区役所	1974年(S49年) 3月	39	2013年(H25年)4月	11

2

# 事業の必要性【現状と課題】各施設1

## 門司区役所



外壁のひび割れ・錆  
(剥落防護ネット)



廊下の途中に階段  
(車椅子、ベビーカー等の方の移動が困難)

## 門司港地域複合公共施設整備事業の目的

### 集約対象施設



## 事業の必要性【現状と課題】各施設2

門司生涯学習センター



天井の雨漏り

門司市民会館



外壁の剥落、鉄筋の露出

5

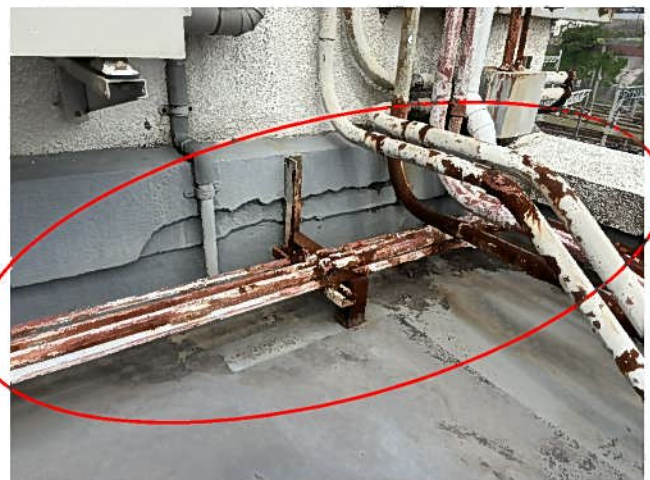
## 事業の必要性【現状と課題】各施設3

門司図書館



庇のモルタル(コンクリート)  
落下防止ネット設置

港湾空港局庁舎



設備配管の腐食

6

## 門司港地域複合公共施設整備事業のこれまでの経緯

- 平成27年度 『公共施設マネジメント実行計画』を策定  
(モデルプロジェクトとして門司港地域複合公共施設の整備とその建設予定地を門司港駅周辺とすることを決定)
- 平成30年度 門司港地域複合公共施設の建設を門司港駅東側のJR用地とすることを決定
- 令和元～3年度 複合公共施設の基本計画・基本設計
- 令和4～5年度 複合公共施設の実施設設計

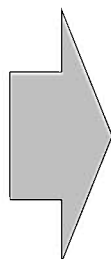
※上記事項を決定する過程においては、随時パブリックコメント等を実施

※平成27年5月以降 延べ92回、286団体、1,805人に意見交換会等を実施

## 建設予定地決定の考え方

### 【検討事項】

- 敷地の規模 (4,000㎡以上)
- 経済性 (トータルコスト)
- 利便性 (交通アクセス)
- 市民意見 等



**現在の建設予定地に決定**

## 施設計画 【施設規模・機能・維持管理費の縮減】

○現在の利用状況及び求められる機能等から将来需要を検証した上で施設規模や整備内容を設定

現況施設		集約or廃止	現状(mi)		将来需要の検証	実施設計(mi)
市民利用施設	門司市民会館	集約	3,700	8,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民会館の座席数(800⇒<b>500</b>) ⇒移動観覧席とし、多目的に活用</li> <li>会議室は、現状の利用状況等を検証し、規模等見直し (大1小24室⇒<b>大1小7室</b>)</li> </ul>	<b>3,599</b>
	門司生涯学習センター	集約	3,000			
	門司勤労青少年ホーム	廃止	1,800			
図書館	門司図書館	集約	1,000	1,800	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>2施設を1施設に集約</b>し、管理の効率化を図る</li> </ul>	<b>1,690</b>
	旧国際友好記念図書館	集約	800			
庁舎	門司区役所	集約	7,100	10,600	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>会議室、トイレ等の共用利用</b></li> </ul>	<b>8,946</b>
	港湾空港局庁舎	集約	3,500			
計			20,900		<ul style="list-style-type: none"> <li>床面積<b>約3割縮減</b></li> <li>維持管理費 <b>▲1.6億円/年</b></li> </ul>	<b>14,235</b>

## 配置計画 【アクセス性、利便性、回遊性の向上】





## 埋蔵文化財の調査について

## 試掘調査

○ R5年3月

複合公共施設の整備に先立って**試掘調査**を行いました



○**試掘調査**とは？  
⇒発掘調査が必要かどうかを調べるもの  
「試しに掘る」ので  
**試掘調査**

⇒ 旧門司駅関連施設の一部（**レンガの基礎**など）を発見  
**発掘調査が必要**と判断

13

## 発掘調査の開始

○ R5年9月～11月

試掘調査の結果をもとに、**発掘調査**を行いました



14

## 現地説明会



○令和5年11月19日 現地見学会開催

15

## 遺構の一部移築の提案

R6年1月25日 遺構の**一部移築**方針を公表



R6年2月議会 遺構の一部移築(切り出し)の費用を  
R5年度補正**予算案**として提出  
(2,000万円)



**一部移築費用の予算案を除いた修正案が可決**

16



## 修正案の提案理由（抜粋）

- ① 市民や議会への説明責任を果たしたうえで、
- ② 今後、発掘調査を行っていない部分のうち重要と思われる箇所では遺構の存在が確認された場合には、適切な埋蔵文化財調査と厳密な記録保存を行うとともに、
- ③ 速やかに、複合公共施設の計画を進めるべきと考えられるので、同補正予算には一部移築費用を盛り込まないようにするため、この修正案を提出する。

17

## 追加の調査範囲について



## 調査成果の活用

現状をしっかりと記録し、後世に残す  
(図面、画像、3Dデータなど)

- これからの**研究の材料・資料**
  - ・研究者のための資料（各地の大学や研究機関など）
  - ・市民が地域の歴史を知るための資料（図書館など）
- 3Dデータ等の**デジタル技術**への活用
  - ・詳細な記録を残すことでVR（バーチャル・リアリティ）など、地域の魅力づくりや、学校教育の教材として活用

19

## 複合公共施設の建設コストについて1

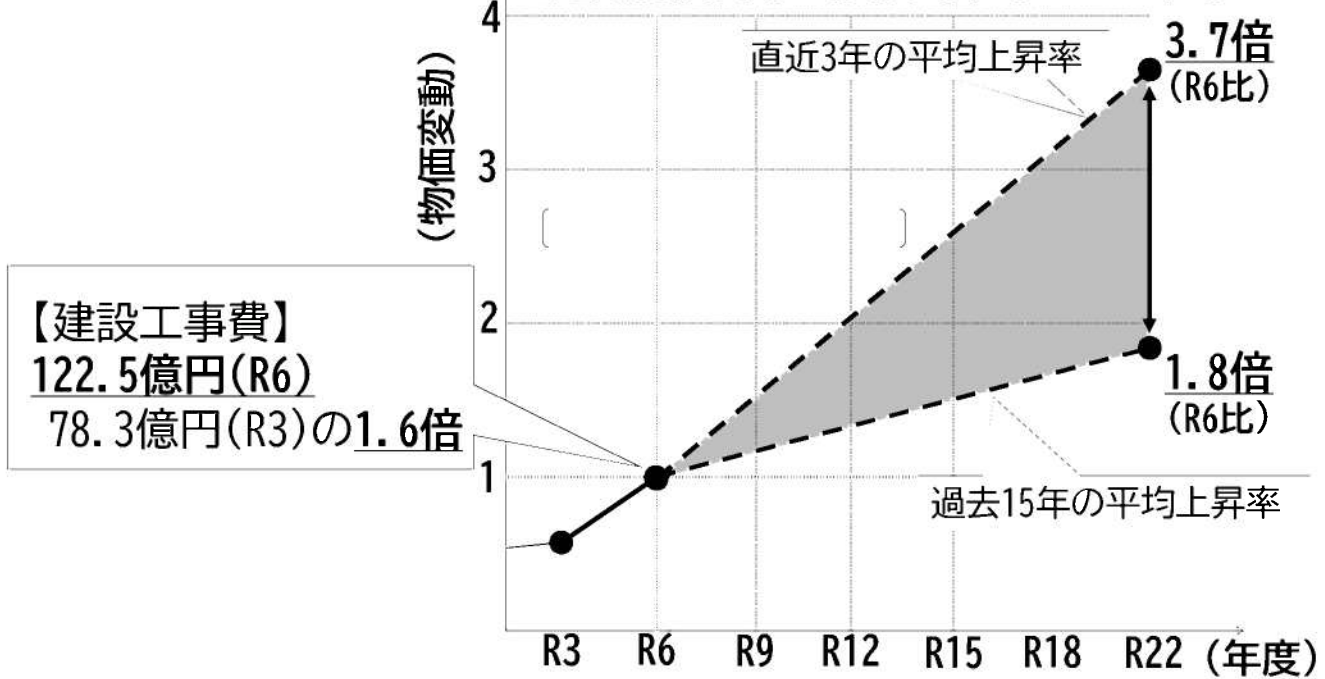
建設工事費	建設着手年度	維持管理費の削減効果
122.5億円	R6	▲1.6億円/年

【参考①】 遺構の全面保存	300億円～550億円	R22頃	無
【参考②】 遺構の現地一部保存	200億円～250億円	R9頃	▲1.6億円/年

20

## 複合公共施設の建設コストについて2

【建設物価変動の推移試算（R6～R22）】



21

## 今後のスケジュール

令和6年6月議会	遺構の追加発掘調査、複合公共施設整備費等の補正予算案を提出
令和6年7月～	遺構の追加発掘調査・記録保存に着手
令和6年度中	複合公共施設の建設工事に着手
令和9年度中	複合公共施設の竣工

22